

Renova(リノバ)それは、現場の声を集めて開発されたリフォーム専用商品です。

リフォーム現場の困ったを リノバが解決！！

01 壊さない工夫!!

壁を壊さないで納まります。
リフォーム専用のカバー工法のため、上から取付けるだけ。
壁を壊すことなく、建具や造作材がきれいに納まります。

02 現場にFIT!!

現場の状況に対応します。
納まりが違う現場においても、簡単な加工でFITできるため
汎用性に優れています

03 ムダの排除!!

部材も作業もムダを排除しました。
加工が簡単のため現場での作業が大幅に短縮。作業も部
材もムダを省いて効率アップが図れます。

リノバ紹介
ムービーが
ご覧いただ
けます。



リノバをご採用いただくにあたっての注意点

リノバはリフォーム現場の“困った”を解決するために開発されたリフォーム専用商品ですが、既存物の状態、条件によってはご使用いただけない場合もございます。
ご採用にあたっては、【内装リフォーム専用商品 リノバカタログ】掲載の『施工ガイド』(P12～)、『ご採用にあたって』(P16～)等をよくご確認の上、ご注意くださいようお願いいたします。



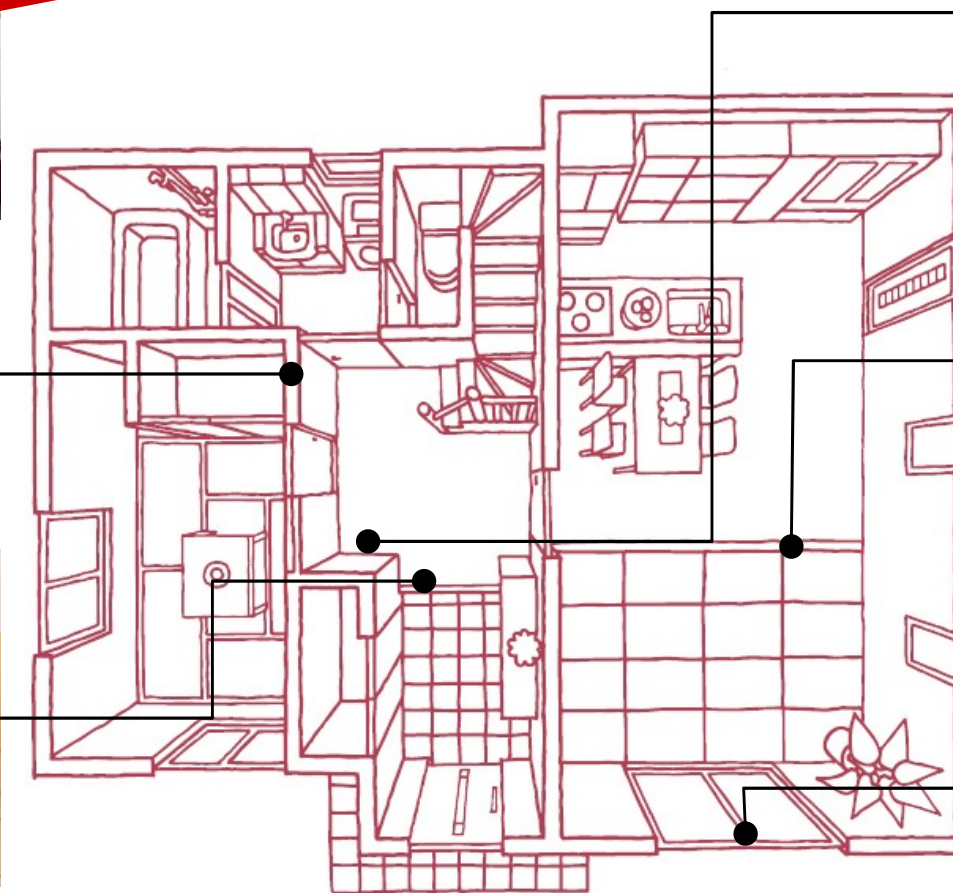
建具



造作材



床造作材



窓枠・開口枠

Renova(リノバ)とは、“リ”(リフォーム)＋“ノバ”(nuovo＝新たに)の造語。これからのリノベーションに必要な新しい商材の総称です。

リビング建材 内装リフォーム専用商品 リノバ New

LIXIL
TOSTEM

01 壊さない工夫!!

壁を壊さないで納まります。

リフォームには大量の廃材が発生します。お客様の負担になるばかりでなく、工期や手間がかかってしまいます。



お客様の負担!



大量の廃材!



作業の手間!



壊す手間!

Renovaが解決!!

既存枠はそのままOK!
「リノバ」で簡単、キレイ!

既存枠に
JustFit!

がたつき、
ゆがみも
JustFit!



動画で
確認!!

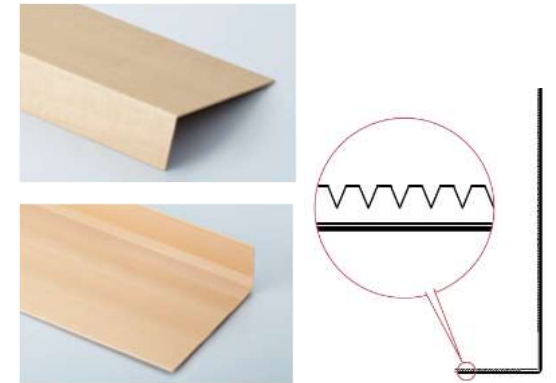
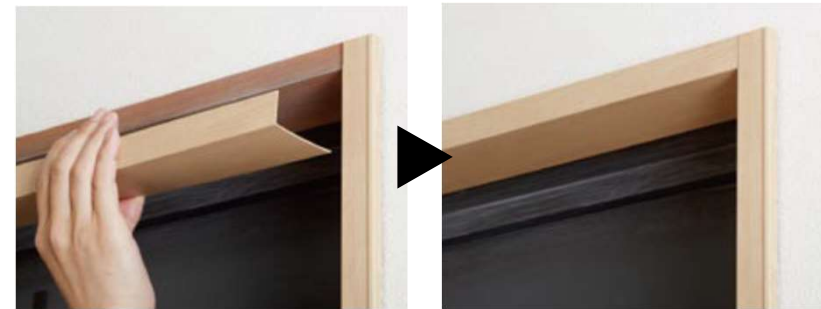


『リノバ』はリフォーム専用のカバー工法のため、上から取付けるだけ。壁を壊すことなく、建具や造作材がきれいに納まります。

※商品の詳細特長や注意事項はカタログをご覧ください。

■ 既存枠をそのままに簡単リニューアル
【リノバ カバー材】

特許出願中

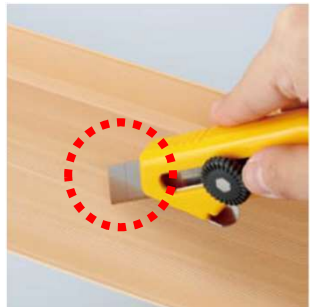


家中、
どこでも
使用可能!!

左: 窓枠
右: 建具枠



複合樹脂材料なので、
カッターできれいに簡
単にカットできます。見
付け、見込みを現場に
あわせてフレキシブル
に対応できます。



■ 既存枠をそのままに建具扉を交換。調整機能でゆがみもクリア。
【リノバ 室内ドア・戸襖ドア】

特許出願中



室内ドア



既存枠の見込みに
合わせて、フレ
キシブルに幅を変
えられるストライク。

● 戸当たりから縦枠端部までの見込み幅
37mm～50mmの範囲で対応。
※範囲外の場合は枠の加工が必要です。



枠側に面付けで取
付け可能な丁番。
本体側の調整機能
で、左右、前後、上
下にアジャストでき
るため、枠の狂いに
対応します。

■ 調整範囲 前後調整: +2～-2mm
左右調整: 1.5(吊元側)～3.5(戸先側)mm
上下調整: +3～-3mm

【リノバ 室内引戸・戸襖引戸】



室内引戸



下枠は既存枠に
のせるだけ。ス
ムーズな開閉の
Vレール仕様。



ここが四七溝

既存の四七溝枠にそのまま建て
込み可能な戸首。



調整機能付戸首

※商品の詳細特長や注意事項はカタログをご覧ください。

02 現場にFIT!

現場の状況に対応します。

リフォーム現場では、現場ごとに異なる段差やスキマが発生してしまいます。



Renovaが解決!!

現場ごとに変わる床段差の見切り処理も、アジャスタブル機能で問題を解決!

気になる
段差に
JustFit!

動画で
確認!!



フレキシブルで可動式の床見切り材が、小さな段差やすき間をきれいに調整します。

上り框と床との段差



段差!

上り框や窓と床とのスキマ



スキマ!

上り框と床との段差

段差!

作業の手間!

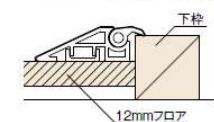
■アジャスタブル機能付きの床見切り材で現場の段差にFIT。

特許出願中

【アジャスタブル段差解消部材】
(段差範囲 6~15mm)

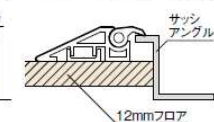


開口下枠と
フロアの段差を解消

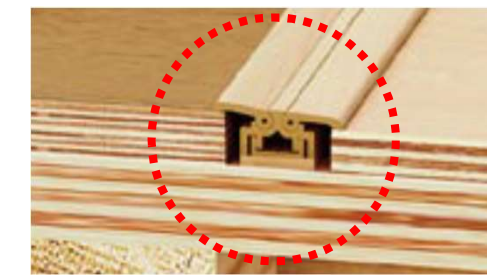


スリムタイプ(段差範囲2~5mm)もご用意しています。

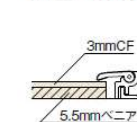
掃き出しと
フロアの段差を解消



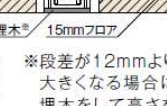
【アジャスタブル継ぎ手部材】
(段差範囲 6~12mm)



フロア間の
段差を解消

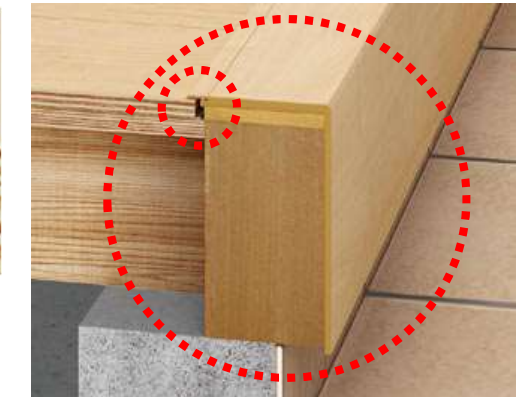


12mmフロア
埋木 15mmフロア



※段差が12mmより
大きくなる場合は
埋木をして高さを
調整してください。

【アジャスタブル上り框】
(可動範囲 -2~+4mm)

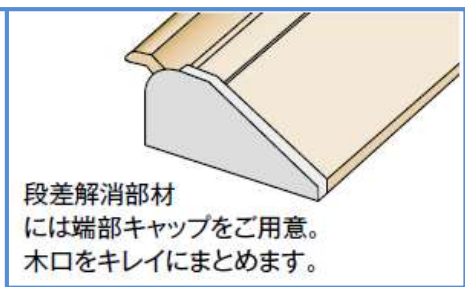


上り框とフロアの段差や
スキマを解消

歩行時の
安全性も
向上!!



スロープ形状で安全性を
確保。垂直段差を無くすこ
とで、歩行時の安全性が
向上します。
※ 車椅子で走行する場合は、変
形・破損の恐れがありますのでご
使用できません。



段差解消部材
には端部キャップをご用意。
木口をキレイにまとめます。

■コーナーもフレキシブルキャップで簡単、キレイ。

【リノバ フレキシブルコーナーキャップ】



入隅

ズレ



出隅



入隅

半硬質素材で幅木コーナーの段差やズレを吸収しやすく、コーナー部を美しくまとめるフレキシブルコーナーキャップ。

ハサミで
簡単
カット!!

コーナーキャップはハサミで簡単
カット! 現場の幅木に合わせてフレ
キシブルに対応。



【幅木用エンドキャップ】



見きれない幅木のエンド部分を
きれいにまとめるエンドキャップ。

※商品の詳細特長や注意事項はカタログをご覧ください。

03 ムダの排除！

部材も作業もムダを排除しました。

従来長さの部材は、作業や部材のムダが発生していました。

運び
づらい！

狭いところ
は大変…

入らない！

部材が
余って邪魔…

Renovaが解決！！

動画で
確認！！



L=3000mm(部材長さ)で
取り回しの良さを実現！

業界初！

■取り回しの良さ

【運搬・搬入も考慮
自家用バンに入るサイズ】

リフォーム現場のスケールを考えた、業界
初3mの部材サイズ。自家用バンにもカット
することなく載せられるので便利です。



■少数ロットでムダを排除

【小規模リフォームにも細かく対応】

業界初の少数ロット設定でご注文可能。小規模リフォームでも部材がムダになりません。

リノバは全て1もしくは2本(個)から発注可能です。

これからは、悩みなし！

Renova リノバは、

いつでも
車の中に

汎用性の高い部材を
ラインアップ！！
小ロットの発注もOK！！

ありそうでなかった
業界初のリフォーム専用
アイテム！！

リノバが現場に
合わせるフレキシブルな
対応力！！

作業車の
常備部材として
役に立つ!!

取り回しの良さが作業効率
をUP!! 1Dayリフォームを
スピーディーに!!

リビング建材 内装リフォーム専用商品 リノバ New

LIXIL
ToSTeM

※商品の詳細特長や注意事項はカタログをご覧ください。

■施工ガイド 【リノバ カバー材】

動画で
確認!!



1

既存枠の粗しと清掃

既存の枠の汚れや油を紙やすりで取り、硬く絞った雑巾で粉塵等を拭き取ります。
※ 水分が付着した場合は、両面テープ・接着剤が付きにくくなるため、確実に乾燥させてください。

2

長さ測定

対象の枠の長さ、見込み、見付け寸法を測定します。

3

カバー材をカット

測定寸法に合わせ、裏側のV目地(目地は1mmピッチ)に沿ってカッターで切断します。
V目地にカッターを2〜3回とおすことでカットできます。

4

両面テープを貼り付け

既存枠の端部に両面テープを張り付けます。

5

接着剤の塗布

両面テープからはみ出さないよう、既存枠に接着剤を塗布します。
※ 上枠は接着剤が垂れ落ちる可能性があるため、カバー材に接着剤を塗布します。

6

カバー材の取付け

既存枠にカバー材を張り付け、圧着します。
※ カバー材の浮きを防止するため端から順に圧着してください。

7

充てん剤でコーキング

最後に縦と横の突合せ部など気になるスキマがある場合は充てん剤を施します。

8

完成

注意事項

- ・ 梱包は作業する場所で開梱してください。
- ・ 対象は木質塗装枠を対象としています。(シート枠およびスチール枠等には接着しない恐れがございます。)
- ・ 既存枠に汚れや油分が残っていると、接着強度が保持できない場合があります。
- ・ 間違い防止のため、1部材ずつ測定・施工を繰り返し行ってください。
- ・ 接着剤を塗布後はなるべく早くカバー材を圧着させてください。

【リノバ 室内ドア・戸襖ドア】

動画で
確認!!



1

既存ドアの取外し

既存の枠から既存ドア本体及び、丁番、ストライクを取外します。

2

枠の加工[戸当たり]

リノバ用の丁番の取付け位置出しを行い、指定寸法にて戸当たりの切り欠きを行います。

3

丁番の取付け[枠]

戸当たり切り欠き部に枠側の丁番部品(羽根形状)を加工端部に押し当て、ビスで固定します。

4

丁番の取付け[本体]

戸当たり切り欠き部に枠側の丁番部品(羽根形状)を加工端部に押し当て、ビスで固定します。

5

吊込み

本体を吊り込みます。

6

調整

開閉状態を確認し、本体側の3次元調整丁番にて上下・左右・前後の調整を行います。

7

枠の加工[ストライク]

リノバ用のストライクの取付け位置出しを行い、指定寸法にて掘り込みを行います。

8

ストライクの取付け

掘り込み部にストライクのベース部品をビスで固定後、調整プレートを枠の見込みに合わせて取り付けます。

9

ハンドルの取付け

吊元方向により、箱錠のラッチ方向を変えます。その後ハンドルを取り付けます。

10

既存枠の処理

場合により、既存ドア用の丁番、ストライクの加工形状部に埋木、塗装を行います。

11

完成

ストライクの前後調整を行い、戸当たりにパッキン材を取り付け、扉が閉まる事を確認できたら、完成です。

注意事項

- ・ 既存枠及び躯体は木質を対象としています。
- ・ 戸当たりの切り欠き形状は指定寸法にて加工してください。指定寸法以外で取り付けるとドア本体が閉まらない、ドアと戸当たりに隙間が出る等の支障が出る場合があります。
- ・ 戸当たり側のねじ固定位置に躯体があることを確認してください。また、丁番固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。
- ・ 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず下げて、本体が外れないことを確認してください。本体脱落の原因となります。
- ・ 建付け調整(丁番による調整)時、本体側丁番の固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締め付けてください。本体脱落の原因になります。
- ・ ストライクの掘り込みは指定寸法にて加工してください。また、取り付け時にストライクが戸当たりに対して傾きがないことを確認してください。加工形状が大きいとストライクが取り付けなかったり、また、加工深さが浅かったり、ストライクが斜めに取り付けられていると、本体が閉まらない等の支障が出る場合があります。
- ・ ストライクの調整プレートが枠の端部より出すぎないようにしてください(目安4mm以下)。枠の端部より出すぎるとひっかかり等の支障が出る場合があります。